平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場会社名　株式会社 倉元製作所　　上場取引所　大
コード番号　5216　URL　http://www.kuramoto.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 鈴木　聡
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長　(氏名) 柴田　哲　TEL 0228-32-5111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	6,819	8.6	503	△23.8	426	△16.2	449	―
23年12月期第3四半期	6,280	―	660	△40.8	508	△38.5	△212	―

(注) 包括利益　24年12月期第3四半期　458百万円　(―%)　23年12月期第3四半期　△223百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	27.82	―
23年12月期第3四半期	△13.15	―

(注) 23年度12月期第3四半期の売上高に係る対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	12,566	3,328	26.5	206.19
23年12月期	12,912	2,870	22.2	177.82

(参考) 自己資本　24年12月期第3四半期　3,328百万円　23年12月期　2,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―	0.00	―		
24年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	17.5	800	0.3	600	△1.2	650	3,321.1	40.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 有
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	16,143,170 株	23年12月期	16,143,170 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	880 株	23年12月期	880 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	16,142,290 株	23年12月期3Q	16,142,290 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年１月１日～平成24年９月30日）における世界経済は、欧州債務危機長期化を背景に世界貿易の伸び悩みや中国など新興国における経済成長の減速が鮮明になるなど、非常に厳しい状況で推移しました。わが国経済においても復興需要などの内需が下支えとなったものの円高・株安傾向や原油価格の高騰が続き、景気の先行き不透明感が拭えない状況が続きました。

当社グループの当第３四半期連結累計期間の業績は、スマートフォンやタブレットPCの大幅な市場拡大により中小型パネル用基板加工の需要も伸長し、［ガラス基板事業］は増収を確保することができました。［精密研磨布事業］は、昨年後半のタイ洪水の影響が払拭され、受注は堅調に推移しました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、6,819百万円（前年同四半期比8.6％増）に、収益面では、［ガラス基板事業］において新規受注の立ち上げ等の影響もあり、営業利益は503百万円（同23.8％減）に、経常利益は426百万円（同16.2％減）となりました。四半期純利益は、昨年度の災害損失計上の影響から大幅に改善し、449百万円（前年同四半期は212百万円の四半期純損失）となりました。

［ガラス基板事業］

ガラス基板事業においては、スマートフォンやタブレットPCの市場拡大のなか、中小型パネル用基板加工の受注が伸長したほか、タッチパネル用成膜加工の受注増が寄与し増収を確保することができました。

売上高は4,461百万円（前年同四半期比32.7％増）に、セグメント利益は新規受注の立ち上げ等の影響もあり、280百万円（同34.7％減）となりました。

［精密研磨布事業］

精密研磨布事業は、昨年後半のタイ洪水による受注への影響が払拭され、受注は堅調に推移しました。売上高は2,232百万円（前年同四半期比0.1％減）に、セグメント利益は生産性向上のコスト削減に取り組んだ結果、338百万円（同11.1％増）となりました。

［その他事業］

その他事業は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石英ルツボ等石英製品の製造販売並びに産業用機械製造販売で構成されております。当社は石英ルツボ等の市況軟調により第２四半期連結会計期間に石英事業から撤退したため、売上高は472百万円（前年同四半期比43.3％減）に、セグメント損失は83百万円（前年同四半期は68百万円のセグメント損失）となりました。

なお、従来、売上高と材料費（売上原価）を総額表示していた有償支給取引について、第１四半期連結会計期間より、売上高と材料費（売上原価）を相殺し、純額で表示する方法へ変更したため、前年同四半期の売上高については遡及修正後の数値により比較分析しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて346百万円減少し、12,566百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加の一方、たな卸資産の減少などにより18百万円減の4,804百万円に、固定資産は、減価償却費の計上などにより327百万円減の7,762百万円となりました。

（負債の部）

負債は、支払手形及び買掛金の減少、借入金の返済、災害損失引当金の取崩などにより804百万円減少し、9,238百万円となりました。

（純資産の部）

純資産は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の欠損が縮小したため、458百万円増加の3,328百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

市場環境の不透明感はありますが、当社グループでは更に一層のコスト削減と得意先ニーズを先取りした製品開発を強化し、今後の収益の確保に努めてまいります。

平成24年12月期の通期業績予想については、平成24年２月14日「平成23年12月期決算短信」公表時の予想数値に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（売上高の処理方法の変更）

当社は、主に販売先から無償または有償で支給された材料を加工・販売しており、従来、有償支給取引について売上高と材料費（売上原価）を総額表示しておりましたが、第１四半期連結会計期間より、売上高と材料費（売上原価）を相殺し、純額で表示する方法へ変更しました。

この変更は、有償支給取引において売上原価に占める材料費の割合が従来に比べて極めて高い製品の販売が増加したことを契機に、取引内容について改めて検討した結果、有償支給材料が全量買い戻されることや有償支給材料の価格変動リスクを負っていないこと等を踏まえて、有償支給取引において当社が負うリスクが実質的に無償支給取引と同等であるという実態に照らし、営業成績をより的確に表示するために行った変更であります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第３四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ729,098千円減少しております。なお、この変更による損益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首に反映されるべき累積的影響額はないため、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過年度より抜本的な経営体質の改善及び収益基盤の強化を継続実施しており、当第３四半期連結累計期間においては、その効果があらわれた結果、営業利益503百万円、経常利益426百万円を計上するに至っており、収益構造の改善及びキャッシュ・フローの安定化が引き続き図られております。その一方で、取引金融機関に対する借入金の返済猶予の状況は継続しており、取引金融機関によって期限の利益の確保が短期にとどまっている状況となっております。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

そこで、当社グループは当該状況を解消するための対応策として、ますます収益構造及びキャッシュ・フローを安定化すべく経営体質のさらなる改善を推し進めるとともに、それらを反映した事業計画を策定し、これに基づく借入金返済計画について取引金融機関からの同意を得られるよう協議しております。その結果、全ての金融機関から返済計画に対する一定の同意が得られております。

以上を踏まえ、収益構造及びキャッシュ・フローの安定化と取引金融機関からの一定の同意が得られていること等を総合的に勘案した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,246,011	1,406,263
受取手形及び売掛金	2,229,210	2,078,027
電子記録債権	－	209,816
商品及び製品	129,486	140,436
仕掛品	312,100	320,661
原材料及び貯蔵品	528,483	324,618
繰延税金資産	273,456	280,709
その他	104,784	44,056
貸倒引当金	△645	△400
流動資産合計	4,822,887	4,804,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,468,655	2,377,326
機械装置及び運搬具（純額）	1,592,909	1,521,060
土地	3,458,305	3,458,305
その他（純額）	281,106	115,211
有形固定資産合計	7,800,976	7,471,903
無形固定資産	86,732	79,590
投資その他の資産	202,359	211,270
固定資産合計	8,090,068	7,762,764
資産合計	12,912,956	12,566,951
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	921,377	735,177
短期借入金	4,965,526	4,711,198
1年内返済予定の長期借入金	359,146	297,618
未払金	488,420	405,200
未払法人税等	30,573	51,777
災害損失引当金	251,419	－
その他	69,109	182,933
流動負債合計	7,085,573	6,383,905
固定負債		
長期借入金	2,324,513	2,115,859
退職給付引当金	108,874	108,313
役員退職慰労引当金	504,483	505,164
繰延税金負債	10,770	15,574
その他	8,371	109,689
固定負債合計	2,957,014	2,854,601
負債合計	10,042,587	9,238,506

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,885,734	4,885,734
資本剰余金	6,335,992	6,335,992
利益剰余金	△8,370,932	△7,921,782
自己株式	△411	△411
株主資本合計	2,850,383	3,299,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,985	28,911
その他の包括利益累計額合計	19,985	28,911
純資産合計	2,870,369	3,328,445
負債純資産合計	12,912,956	12,566,951

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	6,280,710	6,819,850
売上原価	4,802,891	5,443,583
売上総利益	1,477,818	1,376,267
販売費及び一般管理費	816,951	872,896
営業利益	660,866	503,370
営業外収益		
受取利息	550	1,381
補助金収入	5,752	62,281
その他	18,797	27,571
営業外収益合計	25,101	91,233
営業外費用		
支払利息	139,750	146,492
その他	37,320	21,520
営業外費用合計	177,070	168,013
経常利益	508,897	426,591
特別利益		
固定資産売却益	1,479	－
補助金収入	82,442	135,037
受取保険金	600,026	－
特別利益合計	683,949	135,037
特別損失		
固定資産除却損	9,806	596
減損損失	－	30,629
災害による損失	1,340,102	－
たな卸資産評価損	－	24,620
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,500	－
特別損失合計	1,353,409	55,846
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△160,562	505,782
法人税、住民税及び事業税	42,391	63,849
法人税等調整額	9,359	△7,217
法人税等合計	51,750	56,631
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△212,313	449,150
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△212,313	449,150

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△212,313	449,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,643	8,925
その他の包括利益合計	△11,643	8,925
四半期包括利益	△223,956	458,075
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△223,956	458,075

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年１月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,360,851	2,197,733	5,558,585	722,125	6,280,710	－	6,280,710
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	35,517	35,517	110,135	145,652	△145,652	－
計	3,360,851	2,233,251	5,594,102	832,260	6,426,362	△145,652	6,280,710
セグメント利益又は損失（△）	430,142	304,390	734,532	△68,013	666,519	△5,652	660,866

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石英事業、産業用機械事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△5,652千円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年１月１日 至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,461,144	2,131,602	6,592,747	227,102	6,819,850	－	6,819,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	100,488	100,488	245,164	345,653	△345,653	－
計	4,461,144	2,232,091	6,693,236	472,267	7,165,503	△345,653	6,819,850
セグメント利益又は損失（△）	280,971	338,264	619,235	△83,821	535,414	△32,044	503,370

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石英事業、産業用機械事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△32,044千円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間から、従来売上高と材料費（売上原価）を総額表示していた有償支給取引について、売上高と材料費（売上原価）を相殺し、純額で表示する方法へ変更しております。それに伴い、報告セグメントごとの売上高の金額の算定方法を変更しております。当該変更は遡及適用され、遡及適用後の前第３四半期連結累計期間に係る報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は「Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年１月１日 至平成23年９月30日）」に記載しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、［ガラス基板事業］の前第３四半期連結累計期間の売上高、売上原価はそれぞれ729,098千円減少しておりますが、セグメント利益への影響はありません。